

住みたいまちを目指して

二瀬地区まちづくり協議会
会長あいさつ

平成 28 年度も終わりに近づきました。皆様のご協力で、予定していた行事のすべてを無事終えることが出来ました。心から感謝申し上げます。

まちづくり協議会は社会の構造が大きく変わったために、今までの行政中心から市民参加の協働のまちづくりを目的として立ち上げられたものです。

二瀬地区まちづくり協議会では「住みたいまち」「住みつづけたいまち」を目指して次のような部会を設けています。

- ・ 教育部会
- ・ 環境部会
- ・ 福祉部会
- ・ 体育部会

平成 29 年最初の事業で餅つきがあり

ました。これは伊岐須小学校 6 年生全員で、6 月に田植え、そして 10 月に稲刈りした餅米で餅をつき、そして皆でわいわいがやがや楽しく食べました。

それにしても、児童たちは旺盛な食欲でした。腹もち・ながもち・力もち、マラソン選手も一番力が出る食べ物とっています。中学校でも、しっかり粘って目的の達成に力を注いでください。

さて、今回から各部会の活動状況をお知らせします。今後も各部会の活動に皆様方の積極的なご参加をお願いします。



二瀬地区
まちづくり協議会
会長 緒方 健

飯塚市合併 10 周年を記念して

合併 10 周年記念
第 40 回二瀬公民館まつり

毎年 11 月に開いている二瀬公民館まつり。平成 28 年度は第 40 回を迎え、11 月 12 日（土）から 13 日（日）にかけて開いた。これは飯塚市合併 10 周年記念事業の一環として催しました。

記念事業として、福岡県立志耕館高等学校の郷土芸能部の皆さんに和太鼓演奏を披露していただきました。会場には 1,200 人ももの来場者が訪れ、大いに盛り上がり、これからの地域の活性

化に弾みをつけるような勇壮な演奏でした。また、合併 10 周年記念と二瀬地区まちづくり協議会の文字をあしらったタオルも来場者の先着順で配布しました。（まちづくり協議会）



祭りでまちを活気づける

二瀬流

地域住民の「絆・育む」を目的に飯塚市民祭を盛り上げようと約50年ぶりの平成23年に立ち上げました。

二瀬地区まちづくり事業の一環として「親睦・融和」「青少年健全育成」を目的に、二瀬地区がひとつになり「住みたいまち」「住みつづけたいまち」を皆さんとともに築きたいと思っています。

また、実施にあたっては500人もの住民の皆さんにご協力いただき、最近では昇き手の息も合い、タイムも徐々に良くなってきています。(体育部会)



飯塚山笠の歴史

夏の市民祭として親しまれている飯塚山笠は、享保年間（約270年前）に始まったと言われています。復活40年以上の歴史があります。また、山笠フィナーレの「追い山」の日には、約3千人とも言われる男衆が水法被に身を包みます。沿道からの勢い水を全身に浴びながら街中を疾走する姿は、飯塚の街に感動と一時の清涼を与えます。



二瀬流	過去のタイム
1年目	12分 1秒 50
2年目	11分 36秒 46
3年目	11分 50秒 15
4年目	11分 28秒 27
5年目	9分 59秒 07
6年目	9分 52秒 41

競い合いながら交流

住民運動会をはじめとする スポーツ交流

地域住民が一堂に集い、終日スポーツを楽しみながら相互の連帯と親睦を深め、より一層健康で明るい生活が送れるように開いています。これは、まちづくり協議会が主催し、二瀬地区社会体育振興会を支援しています。

住民運動会のほかにも、母子キックベースボール、年齢別ソフトボール、職場対抗ソフトボールなども行っており、地域や企業間の親睦を深めてい

ます。

残念ながら、一昨年（第44回）、昨年（第45回）は天候不良で住民運動会は中止となりました。(体育部会)



↑ 職場対抗ソフトボールの様子

九工大生と 子どもたちの交流から

夏休み大学生学校派遣事業

まちづくり協議会が歩み出し、5年を過ぎようとしています。その中で「教育部会」もいろいろと試行錯誤を重ねてきました。来年こそは、具体的な活動方針を定め、計画を実施したいと思えます。

さて、この数年間、全国規模で文科省が全国小・中学校を対象に学力テストを実施



し、その結果が公表されています。こうしたことから市町村では、独自に公営塾を開設し、積極的に取り組んでいるところもあります。

そこで、まちづくり協議会でも、学校と九工大生そして当教育部会が三者一体となり、学習支援に力を入れていきたいと思っています。

平成28年度は、地区内の小中学生（伊岐須・片島小、二瀬中）の学力向上を目的として、夏休みの出校日を活用し、九工大生（述べ47人）に学習支援をしてもらいました。

九工大との関わりが深い二瀬地区の特色を生かし、平成26年度から始めています。（教育部会）

伝統文化を継承し郷土愛を

乙丸八幡神社獅子舞

教育部会の取り組みの一つとして、伝統文化の継承を掲げています。地域文化や歴史を学び、理解し、郷土に誇りを持ち、二瀬地区のまちづくりを目指したいと思えます。

その一環で、獅子舞の保存に取り組んでいる乙丸八幡神社の皆

さんに11月13日（火）に開かれた二瀬公民館まつりで披露していただきました。

躍動感あふれる舞に来場者も大いに喜んでいました。（教育部会）



皆で住みよいまちづくり

環境整備、防災、防犯

住環境整備として、環境・防災・防犯の分野で、取り組み、活動を行っています。

10月9日、二瀬中学校横にある建花寺川の土手の雑草を刈り取り、見通



しの良い環境を確保しました。

11月20日、二瀬地区の環境月間の一環で、自治会を中心にして一斉清掃を実施しました。

3月11日、九工大の新生を「明るく清潔なまち」にして迎えたいという思いで、環境部会を中心に地域住民、二瀬中の生徒、九工大の学生・留学生で九工大周辺のクリーンキャンペーンを実施しました。

このほか、防犯啓発看板を各自治会に配布したり、自治会長定例会で市防災課を招き、ハザードマップ・土砂災害ハザードマップを活用した学習会を行ったりしました。（環境部会）

←クリーンキャンペーンの様子

農業体験で食を学ぶ

伊岐須小学校 6 年生農業体験

福祉部会は「食育」の学習機会として、伊岐須小学校 6 年生（124 人）による農業体験を実施しました。

6 月 8 日に伊岐須小を訪ね、米の歴史や田植えについて事前学習を行ないました。その後ランチルームで子どもたちと一緒に給食を食べ、学びと交流を深めました。

6 月 17 日に田植え、10 月 21 日に稲刈りを実施しました。



↑ 6 月の田植え



← 10 月の稲刈り



← 始業式で餅つき

12 月 15 日に、収穫したもち米の一部は、二瀬地区内の老人ホーム 3 施設に提供しました。



もち米を持って
↓ 施設へ訪問

収穫祭として 1 月 10 日（3 学期始業日）に伊岐須小学校で餅つきを行いました。6 年生児童は、まちづくり協議会のメンバーをはじめとする自治会長会、若草会、民生委員そしてボランティアの方々から餅のつき方を教わりながら餅つき。つきたてをきな粉餅やおろし餅にして食べました。児童全員、とても喜んでいました。（福祉部会）

一人暮らし高齢者の支援

福祉弁当

地区にお住まいの 1 人暮らしの高齢者（おおむね 80 歳以上）を対象に配食サービス（福祉弁当）事業を行っています。

お弁当作りの中心メンバーは「二瀬ボランティア若草会」の皆さんです。（会員約 50 名）

毎月 1 回 2 日に分けて約 200 食を作ります。食材の買い出しから献立、調理まですべてが手づくりです。カロリー計算や減塩調理等で高齢者向けのヘルシーなお弁当です。

出来たお弁当は地区担当の民生委員や福祉委員がそれぞれお届けします。月 1 回のささやか

なお弁当ですが「お弁当が楽しみです」と大変喜ばれています。

今後もこの弁当作りを続けようと思いますが、材料費の高騰や会員の減少、高齢化などいくつかの課題もあります。

弁当作りは、意外とハードな作業で、体力勝負です。1 人でも多くのボランティアの方の応援をお願いします。（福祉部会）

